

学校(本校・分校)の教育目標

『志をもって、人生を切り拓くことのできる生徒の育成』

「相島を誇りに思い、自分の将来に希望をもち、自分の人生を切り拓くことのできる生徒の育成」

【教育課題】

- ① 異学年・同学年との交流活動を通して、円滑にコミュニケーションがとれる能力及び初対面・初場面などの状況に応じた対応力の育成
- ② 基礎的な知識及び技能の確実な定着と読み取る力と表現する力の育成
- ③ ふるさと相島に対する愛着や思いを主体的・自発的な行動に結びつけ、自己有用感を高める

【経営課題】

- ① 相島小学校との連携（小中連携）による教育活動の推進(相島スタイル)及び本校との積極的な交流の推進
- ② 生徒一人一人に応じた学習スタイル(相島スタイル)や少人数での主体的・対話的で深い学びを生み出す授業実践の構築
- ③ 特別支援教育の視点に基づいた学習環境づくりや授業づくりの更なる充実
- ④ 学校運営協議会を中核とした開かれた学校運営(漁村留学の充実を通して、子どもと島の元気に貢献する)

【令和2年度の重点目標】

『ふるさと相島に誇りをもち、社会や人のため学び・働く「志」をもつ生徒の育成』

「確かな学力の定着」

「深い学び」により見方・考え方を育て、思考力・判断力・表現力が高まった生徒の育成

「つながりを生かした学校づくり」

(連携・接続・協働)  
(町重点施策)

- ・人権・同和教育の推進
- ・コミュニティ・スクールの推進

「豊かな心の醸成」

社会や人のために、感じ考え行動することができる「志」のある生徒の育成

【目指す生徒像】

- ア 目的をもち、自ら学び伸びようとする生徒
- イ 自分を大切にし、感謝や思いやりの心をもつ生徒
- ウ 勤労を尊び、健康・安全に努める生徒

【生徒を育てる教師像】

- ア 「師弟同行」「率先垂範」を実行する教師
- イ 生徒の個性を生かし、伸ばす教師
- ウ 教育の専門職として、常に自己研鑽に励む教師

〈方策の重点〉

- ① コミュニケーション能力の育成
  - ア 交流活動（総合的な学習の時間、学校行事、道徳等）の指導の充実
  - イ 各種アンケート（いじめ、生活、Q U）及びS Cの活用と連動した教育相談の充実
  - ウ 生徒会活動（あいさつ運動、クリーン作戦等）の推進
  - エ 特別支援教育の充実
  - オ 島の方との関わりを通して、相島を元気にする活動の充実
- ② 「学びの相島スタイルを生かした学習活動の工夫」の推進に努める
  - ア 少人数での「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を生み出す学習指導及び手立ての実践化を図る
  - イ 漁村留学実施における「学び合い」「高め合い」の充実を図る
  - ウ 補充学習（7校時）の充実及び生徒に応じた家庭学習の推進と定着を図る
- ③ 小中連携による、学習規律の確立、授業力の向上、情報の共有化（学校評価、個別の支援・指導計画）を進め、相島スタイルを確立させる
  - ア 小中連携システムの機能化を図る
  - イ 小中合同研修の充実を図る（合同の授業研、合同委員会の実施）
  - ウ 中学校教員の専門性を生かす兼務教員の充実を図る
  - エ 小中連携による外国語（英語）力の向上を図る
- ④ 学校運営協議会を中核とした開かれた学校運営を行う
  - ア 学校運営協議会と相島活性化協議会をはじめとする地域との連携強化
  - イ 地域教材・人材の意図的・計画的な位置づけ（社会に開かれた教育課程）
  - ウ 漁村留学実施による学校・家庭・地域の協力体制の充実
  - エ 小中連携教育の充実による義務教育学校への移行に向けた検討会議
  - オ H Pの活用等による積極的な学校公開と評価の充実
- ⑤ 校内研修の推進
  - ア 全教師が研究テーマに基づいた授業研修を行い、授業方途のあり方を協議し、授業力向上を図る
  - イ 新学習指導要領実施に向けた研修を行う
  - ウ 令和2年度の地教連研究指定発表に向けた校内研修の充実を図る（小中連携）